

児童館、学童クラブ、放課後子どもひろば 運営資料

- 1 児童館運営指導計画等.....P.1
- 2 学童クラブ運営方針及び計画等.....P.11
- 3 放課後子どもひろば第一回連絡会資料.....P.14

平成24年度 児童館運営指導計画・総括表

館長	係員

館名 中町児童館

運営及び指導計画		
現状分析	運営及び指導目標	実施に向けての取組み(手法)
<p>・今年度学童クラブ児増加のため、図書室を学童クラブ室に変更した。児童館の一般利用児童の施設がさらに狭くなり、遊びの環境を整えることがより難しくなった。また、利用児童が増えているので、より安全強化かつ心地よく過ごせるよう、各部屋の環境を工夫して遊び場としての設定を行う。</p> <p>・利用児童が事故・怪我の無いよう日々職員間で連携を図り、各部屋の活動を見守っている。遊戯室での動的遊びは、児童が話し合いをし、時間を決めての交代制方式をとっている。高学年児童の利用が多い日は、17時以降を高学年優先タイムとして時間帯を設けている。</p> <p>・行事は、室内の狭さから多くの人数での実施が難しいため、学年別の入れ替わり等工夫をして行う。児童からのリクエストを反映した行事も実施し、「なつまつり」をはじめ、児童の主体性を発揮した、参画を大切にした行事の実現に取り組んでいる。</p>	<p>・児童にとって安心・安全かつ居心地の良い場になるよう遊びの環境を工夫する。</p> <p>・より一層安全に配慮した館運営を行う。</p> <p>・児童が気持ちを解放して心地良く過ごしつつも、子ども達同士の育ち合いを援助し、社会性を培うことができる児童館を目指す。</p> <p>・児童の意見を取り入れ、児童参画の活気ある行事を展開し、活動をとおして児童がより充実することを目指す(定例行事と時期を捉えた行事のバランス、児童の意見を取り入れた行事の実現を進めていく)。</p> <p>・状況の変化に対応し、児童が参加しやすい行事運営(内容・時間の設定)を工夫する。</p>	<p>・より一層、「遊具及び施設管理を徹底し事故や怪我の無いよう日々の点検に努めること」と「職員間で声を掛け合いながら、児童の遊びを見守ること」を行い、怪我や事故等の予防に努める。</p> <p>・防犯強化のため、児童館の受付で入館する成人には、名前・用件などを記入してもらう。</p> <p>・月曜日から金曜日の毎夕方に集団遊びの会を実施し、共に遊ぶ経験の機会を増やす。</p> <p>・今までどおり遊戯室での集団遊びは、時間で区切り、交代制で行う。異年齢の交流も多く出来るように支援及び見守りを行う。</p> <p>・引き続きリクエストボックスを設置して、利用者の興味、関心を捉えた児童参画の行事を計画する。</p>
<p>・幼児サークルは、0歳、1歳、2・3歳児クラスの3クラスで実施し、年齢発達に応じたプログラムを用意している。利用実績は高い。現在に至るまでの実績により、期待感も高く、内容は多様で好評を得ている。幼児サークルは、季節毎の行事や伝承行事、また、「リトミック」他専門講師の指導を取り入れたりして、保護者間交流・親睦を図れる子育てのコミュニティの拠点として機能するような運営をしている。また、地域の保護者が主体的に行う自主サークルに、引き続き館としての協力体制を保つ。</p>	<p>・子育てをする保護者が子育て情報の発信点として児童館を活用し、子育てをする保護者同士のコミュニティの場として機能していく。</p> <p>・地域の方々、近隣機関との連携を図り、子育てをする親の多様なニーズに応えていく。</p> <p>・核家族化した地域の中、身近な相談窓口として機能していく。</p>	<p>・親子で関わりながら楽しめる活動を中心に、季節感や生活体験を豊かにする取組みを充実する。</p> <p>・幼児親子に施設変更(図書室を学童クラブ室に変更)したことを周知し、代わりに他の部屋での楽しい過ごし方をお知らせしていく。</p> <p>・子育て情報誌を定期的に発行し、地域での子育てに役立つ情報を発信していく。</p> <p>・「くれよんくらぶ」等の子育てをする親の主体的活動に協力する。</p> <p>・子育てをする保護者が、気軽に相談できる場として機能するよう、来館時や電話等できめ細やかな対応に努める。</p> <p>・地域における子育てを支援するため、榎町子ども家庭支援センターからの「育児支援家庭訪問(産後支援)」の要請に積極的に応じていく。</p>
<p>・地域・各機関(愛日小学校・牛込保健センター・あいじつ子ども園・榎町子ども家庭支援センター・牛込箕輪地域センター・子ども総合センター等)との情報の交換や連携を図っている。</p>	<p>・地域、各機関(愛日小学校・牛込保健センター・あいじつ子ども園・榎町子ども家庭支援センター・牛込箕輪地域センター・子ども総合センター等)との情報交換・意見交換の機会を作り、協働の中、密接なネットワーク作りを推進する。</p>	<p>・自主事業メンバーや民生児童委員との情報交換を重ねるなど、地域の方々との連携や意見交換を行い、児童館の活動を広く周知しながら、他機関の機能の理解を深め連携しやすい関係を作っていく。(自主事業共催は「なつまつり」)</p> <p>・中町図書館との共催事業「子ども読書の日」記念事業を開催する。</p>

平成24年度 児童館運営指導計画表

館名 中町児童館

項目	定例活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日常生活活動	ドッジボール大会 一輪車講習会 パソコン検定・講習会 クラフト中町 あそぼう会			クラフト中町		クラフト中町		クラフト中町		クラフト中町			クラフト中町
行事		1年生歓迎会 子ども読書の日「お話会」 (図書館との共催)	交通安全のつどい 子ども会議	なつまつり 実行委員会	なつまつり 映画会 (図書館主催) 水遊び すいかわり	水遊び お話の会 折り紙教室 夏休み工作	お話の会 あそびっこ ジャズダンス 交通安全教室 工作会 (図書館主催)	ふれあい 動物園	観劇会	クリスマス会 映画会 (図書館主催)	お正月遊び の会	わくわく フェスティバル お話の会 折り紙教室	お楽しみ会
子育て支援	幼児サークル 0・1・2～3歳児の クラスで実施		わらべ歌あそび 音楽ムーブメント リトミック 親子体操 ベビー マッサージ	リトミック お話の会 親子リズム遊び わらべ歌あそび 3B体操 バイオリン コンサート	七夕会 水遊び	水遊び	親子体操 リトミック 親子リズム遊び 3B体操 お月見会 ミニアスレチック	3B体操 親子リズム遊び 親子体操 ミニ運動会 親子ヨガ	お話の会 親子ヨガ 親子リズム遊び 親子体操 わらべ歌あそび リトミック 音楽ムーブメント	クリスマス会	お話の会 わらべ歌あそび 親子リズム遊び 節分会	リトミック 親子体操 あそびっこ 音楽ムーブメント お話の会	ひなまつり 会 お楽しみ会
中高生対応					なつまつり								
地域活動	自主事業 くれよんくらぶ (各月1回ずつ。)		役員会	運営委員会	20周年記念なつまつり			運営委員会	お楽しみ会			役員会	総会

平成 24 年度 児童館運営及び指導計画・総括表

館長	係員

館名 子ども総合センター児童コーナー

運営及び指導計画		
現状分析	運営及び指導目標	実施に向けての取組み（手法）
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで遊ぶ効果により、学校の壁がなくなっている。 ・低学年にとって、高学年や中学生が優しく遊んでくれる存在でなく脅威と映ることがある。 ・各部屋の機能を生かし切れていない。 ・行事への子どもの参加が少ない。 ・グループで来館する常連が育っていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 小学生から 18 歳未満までが、気持ちよく遊べる場を作り、子どもたちの育ちを支援する。 2 児童コーナー文化の創造 <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現、自尊感情を育てる活動 ・遊び文化の継承 ・子どもの参画により進めていく児童館文化の創造 ・多文化の尊重（自分のルーツに誇りを持ち、他の文化を尊重する） 	<ol style="list-style-type: none"> ① 各部屋の機能を十分に生かせるシフト（人員配置）と児童指導ワーカーのスキルアップ <ul style="list-style-type: none"> ・多目的室→いつでも工作ができ、子どもたちの活動を支援する職員を配置する。 ・ホール→学校学年を越えた集団遊び「あつまるタイム」が毎日実行できる職員配置にする。 ・受付→初めて来た児童にしっかりとインテークし、常連を増やしていく。 ② 子どもの要求を実現するのではなく、子ども自身が自分で実現できるように、育ちをサポートする場と機会を設定できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・余裕をもったプログラム ・子どもについての話し合い ・子どもを巻き込んだ行事づくり。 ③ 学童クラブとの連携
<ul style="list-style-type: none"> ・「ここ・から広場」は知っていても子どもの施設らしくない建物なので、児童コーナーがあることがわからない。 ・大久保地域に比べ、若松地域との関係がまだ希薄である。 ・地域活動連絡会により、地域の人材を児童コーナーにつなげ易くなっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域行事への積極的参加（職員だけでなく児童を連れての参加） 2 地域活動連絡会の充実 3 子どもを通じた知縁の輪（幼稚園保護者） 	<ol style="list-style-type: none"> ① 児童館行事に地域行事を取り込んでいく。（若松地区協ハロウィン、チャレスポドッジボール大会等への参加） ② 地域活動ワーカーは子育て支援をしたい個人団体に機会と場を提供するとともに、支援し育てる。 ③ 保護者懇談会カフェプロジェクト
<ul style="list-style-type: none"> ・困った子ども、困っている子どもへの対応が難しい。 ・児童指導ワーカーの退職等によるメンバーチェンジによりノウハウの蓄積が難しい。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童コーナーチームとしてのチーム力アップ <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動ワーカーと児童指導ワーカーが連携し両輪となって児童や地域とのつながりを持つ。 2 相談チーム、発達チームとの協力と情報共有 	<ol style="list-style-type: none"> ① 児童コーナー・ひろばでの地域活動ワーカーと児童指導ワーカーの協力と OJT ② 中高生行事の充実（バンド入門、ご飯づくり、ダンススタジオ、あかちゃん体験教室）

24年度子ども総合センター児童コーナー年間計画表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
日常活動	ホール	あつまるタイム														
	多目的室	毎日工作														
定例行事	ダンス	大江戸 月1回	→						舞祭り(8/26)	→		大久保まつり	→		新春パレード	わくわくフェス
	ス	よさこい 月2回	→												→	
	エ	工作の会 月1回	→												→	
	作	アートワークショップ							○							○
	卓球教室	月1回	→													
	ここファーム		→													
	けん玉								○	○	○			○	○	
	いいの木おはなし会	月1~2回	→													
	おはなしビスケット	月1回	→													
	行事	ここ・からまつり		ここ・からまつり準備						→		11日ここ・からまつり				
観劇会			○													
わくわくフェスティバル									企画	準備	→				○打ち上げパーティー	
合同ドッジボール									27日							
中高生	試験直前勉強会		○							○						
	スタジオ		入門講座					クリニック・入門			ここから発表	クリニック・入門				
	お知らせ発行		○	○			○	○	○			○	○	○		
地域活動	地域活動連絡会	月1回	→													
	若松地域								チャレスポドッジボール			ハロウィン運動会	豆まき	チャレスポドッジボ	マラソン	
	大久保地区								いぶき町会まつり/舞まつり			大久保まつり	新春パレード			
	夕ラグビー	月一回	→													
	Sけんクラブ	第三土曜日	→													
	新宿アードプロジェクト		→													
	きりん公園								水まつり							お花見会
ROJE	勉強会 行事	→														
		じゃがバター屋台						戦闘中?								

平成 24 年度 児童館運営及び指導計画・総括表（幼児）

館長	係員

館名 子ども総合センター

運営及び指導計画		
現状分析	運営及び指導目標	実施に向けての取組み（手法）
<p>（親と子のひろば運営）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひろば登録者数は若松地区、大久保地区が多い。スペースが広く親子がゆったりと遊ぶことができる。 ・ 平日の午後は、幼稚園児の利用も増加してきたため、フローリングスペースを幼児優先スペースとした。年齢や発達に合わせて安心して遊べるよう環境面での工夫を行っている。 ・ 午前中は、児童コーナーの多目的運動室を乳幼児専有時間とし、スペースの有効活用を行っている。 	<p>1 ひろばが未就学児親子にとって楽しく、心地よい居場所となるようにする。</p>	<p>（1）児童指導ワーカーとの打ち合わせを定期的に行いながら、安全面の確認や年齢発達に合わせた環境・玩具の工夫を行っていく。</p> <p>（2）意見箱設置し利用者からの意見を把握し、その都度どのように対応するか検討していく。</p> <p>（3）話しやすい雰囲気作りをしながら、ひろばを気軽に相談できる場としていく。また、気になる親子には児童指導ワーカーからも声をかけ信頼関係を築いていく。</p> <p>（4）保護者からの育児相談など、能力向上のため研修等に参加する。</p> <p>（5）幼稚園児対象行事（「エアートランポリンで遊ぼう！」など）を定期的実施し、3歳児以降の親子のためのプログラムの充実をはかる。</p>
<p>（職員連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童指導ワーカーが保護者の育児の悩み等の相談に応じながら、不安解消につなげている。また、相談内容によっては相談チームと連携をはかり、親子への支援も行っている。 	<p>2 相談チーム、発達チームと連携をはかりながら、子育て家庭の問題の早期発見、早期解決につなげていく。</p>	<p>（1）相談内容によっては、相談チーム、発達チームの職員につなげ、問題に合わせた解決をはかる。</p>
<p>（乳幼児サークル運営）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0, 1歳児を中心にサークル参加者は多い。発達に合わせたグループ分け及びプログラム内容の工夫を行いながら、親子が楽しく過ごせる時間となるようにしている。 ・ 運営協議会アンケート結果から、サークル活動に関して、保護者の「仲間作り」の満足度が低いことがわかった。 	<p>3 サークル活動等を通して、保護者の仲間づくりの支援を行い、親子の孤立化を防止する。また、子育てに関する様々な情報提供、発信の場にしていく。</p>	<p>（2）地域活動ワーカーや児童指導ワーカーが保護者同士の橋渡しとしての意識を持ちながら日々の支援を行う。</p> <p>（3）協同事業（雪印、ライオン）の実施や外部講師（ヨガ、ベビーマッサージ、工作）を招いたサークルを行う。また、『双子の会』、やセンターの保健師、職員を講師とした企画を立て、多様なニーズに対応した活動にしていく。</p>

平成 24 年度 児童館運営及び指導計画・総括表

館名 子ども総合センター

項目	定例活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
幼児サークル	チュールリップグループ (～8か月まで) コスモスグループ (8か月～1歳6か月) ひまわりグループ (1歳6か月～)	申し込み受付	← 火曜 PM →				←						→	
			← 火曜 AM →				←						→	
			← 木曜 PM →					←						→
行事			乳幼児スペースの利用方法の周知			七夕		戸山プレーパーク遠足	ハローウィン	ここ・から祭り	クリスマス会		節分	ひなまつり
日常生活	お話しタイム (読み聞かせ・手遊び等)			← サークル実施日 以外 AM										
ボランティア	地域のボランティアによる行事	お話し会		親子クラシック クコンサート			お話し会		布おもちゃ			親子クラシック クコンサート	お話し会	
協働事業								雪印食育			雪印食育		ライオン	

平成24年度 児童館運営及び指導計画・総括表

館長	係員

館名 高田馬場第一児童館

運営及び指導計画		
現状分析	運営及び指導目標	実施に向けての取組み(手法)
<p>行事やイベント、地域の団体との交流を通して高一児童館と言うものが定着しつつある。</p> <p>学校やPTAとの関係も良好。</p> <p>問題や検討事項が発生した際は、その都度協議し解決し、協力し合っている。</p> <p>学童クラブと放課後子どもひろばが共存することで、子どもの把握が問題視されていたが、子どもたち、保護者の理解もあり問題なく行われている。</p> <p>児童館事業の中で、幼児サークルの利用者が口コミや紹介などで拡大している。</p> <p>このまま拡大すれば、人数制限や2部構成にするなど配慮が必要になってくる。</p> <p>継続の方はもちろん、新規の方の利用者も多くなっている。</p> <p>乳幼児クラブとは別に1か月交代で幼児タイム・父親タイムを行っている。</p> <p>児童館事業での、小学生対象事業クラブやイベントを行っている。</p> <p>去年以上にクラブは人気があり毎週活気よく活動している。</p>	<p>地域に向けた児童館事業を展開することで、地域の中の児童館であること、また、地域の大人と一緒に子どもの安全を守っていくという意識を持つためにも、地域と子どもと保護者の橋渡しができるよう児童館としてできることを考える。</p> <p>そのためにも、地域の団体への協力をするだけでなく、児童館事業への協力もお願いしていく。</p> <p>特定の学校児童が利用するのではなく、少ない児童数の中、他の小学校児童との交流もうまく展開できるよう間に入って繋げていきたい。</p> <p>また積極的に中高学校の行事に顔を出し、中高生の利用人数も増やしていきたい。</p> <p>児童館事業として展開している「幼児サークル」や「小学生クラブ」「定例行事」の需要に伴う事業の拡大や、質の向上を図るべく指導員の力量をあげるため、外部研修等への積極的な参加や、自ら問題点やテーマを決め研究していくなど、指導員育成にも力を入れる。</p> <p>また、引き続き保護者が気軽に相談できる場所として位置づけしてもらえよう、信頼関係を築いていく。</p> <p>子どもたちが安心して利用できる場所であることを大前提に、全職員、各事業で取り組んでいく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館まつりへの参加協力要請 ・季節の行事へのご招待 ・地域団体の会合等への参加 ・地域の行事への積極的な参加協力 ・指導員の新しいユニフォーム着用により、より一層児童館の職員であるというアピールをする。 と、ともに責任感ある行動発言をする。 ・学校の活動への協力、連携 ・集団であそぶ時間を作ることで、個々の遊びからの展開を図り、友だち関係を広げていけるようにする。 ・指導員の研修への参加 ・カリキュラム反省をするなど、お互いが向上していけるよう指導員同士が意見交換などを行う。 ・利用者のニーズを考え、活動を構成していく。 ・相談を受けることができる指導員の育成。 ・自ら考え自ら動ける指導員を目指していく。 ・安全に安心して利用できるよう、環境整備等を含め、日々の点検、清掃を徹底していく

新宿区立高田馬場第一児童館 2012年度 年間事業計画

年間の流れ(目標)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
項目		利用者や子どもたちが安心して過ごせる環境作りをし、利用者の方との信頼関係を築いていく。行事・イベントなどを通して、新しい友だち作りのきっかけとなるようにしていく。児童館の存在をもっと地域にアピールしていく。			夏ならではの活動を取り入れ、季節感を味わう。長期休を利用して、普段できない事を取り組み経験をさせていく。友だちとの関わりを深めていけるような活動を行う。			行事やクラブ活動等を通して、児童館があるということ意識し、積極的に活動に参加していく。また、友だちと協力して作り上げていく楽しさを味わう。あそびの幅を広げていくことで、仲間以外の友だち関係を深めていく。			一年間遊んできたあそびを仲間と一緒に楽しみ、発表することで達成感を味わう。新年度に向けて、新しい友だちを迎える準備を子どもたち自身の手で行い、進級・進学する意識を持てるようにする。		
	基本(必須)事業	相談事業 個別相談	・個別相談事業	・児童健全育成週間 ・母親講座の開催	・父親対象事業					・虐待防止月間			
児童館	乳幼児対象事業	・幼児サークルの開催(詳細別紙参照) いちご(毎週火曜・0歳児) さくらんぼ(毎週水曜・1歳児) めろん(毎週木曜・2歳児以上)				・夏休み幼児プール開催		・幼児サークルの再開					
	小学生対象事業	・クラブ活動(詳細別紙参照) ・児童館クラブ(詳細別紙参考)											
	中高生対象事業	・中高生の居場所作り ・ボランティアの育成											
	保護者対象事業	・父親講座						・幼児サークルの開催					
	地域連携事業	・自主活動運営委員会への参加 ・育成委員会会議への参加											
その他	・避難経路確認 ・机上訓練	・通報訓練	・避難訓練(火災)[非通知]	・消火訓練	・震災訓練	・避難誘導訓練[非通知]	・避難訓練(地震～火災)	・震災訓練	・避難誘導訓練	・避難訓練[非通知]	・消火訓練	・総合防災訓練	
レベルアップ(選択)事業	相談事業 個別相談												
	乳幼児対象事業	・スタンプラリー・誰でも工作	・観劇会 おもちゃ広場5/22・ベビーマッサージ5/29	おもちゃ広場6/6	・たかいちランド&夕涼み会	・夏休み幼児プール	ベビーマッサージ9/11	・親子運動会	・戸塚ふれあい秋まつり ベビーマッサージ11/20	・幼児おたのしみ会	・お正月あそび ベビーマッサージ1/29	・お別れ会	
	小学生対象事業	・歓迎会4/10 ・スタンプラリー・誰でも工作	・観劇会	遠足6/1	・たかいちランド&夕涼み会	・夏休みイベント		・ハロウィンパレード	・戸塚ふれあい秋まつり	・おたのしみ会	・お正月あそび	・わくわくフェスティバル	
	中高生対象事業	スタンプラリー・誰でも工作	・観劇会	遠足6/1	・たかいちランド&夕涼み会	・夏休みイベント		・ハロウィンパレード	・戸塚ふれあい秋まつり	・おたのしみ会	・お正月あそび		
	保護者対象事業		・観劇会		・たかいちランド&夕涼み会				・戸塚ふれあい秋まつり	・幼児おたのしみ会			
	地域連携事業			・自主活動	・たかいちランド&夕涼み会			・自主活動 ・ハロウィンパレード	・戸塚ふれあい秋まつり				
その他	施設設備関係					・消防設備点検				・樹木剪定 ・カーペット清掃	・消防設備点検 ・ピアノ調律	・床清掃 ・ガラス清掃	

平成 24 年度 児童館運営及び指導計画・総括表

館長	係員

館名 中落合児童コーナー

運営及び指導計画		
現状分析	運営及び指導目標	実施に向けての取組み（手法）
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭と情報交換を行い、児童に関する認識の共有化を図った。児童コーナーの行事に招待したり、学校行事に参加したり、児童コーナーへの理解を深めている。落四小の児童の利用が減少傾向にある。 ・自主事業運営委員会へのサポートの成果により、主任児童委員、町会など地域の方々に児童コーナー機能が理解されている。一方で、自主事業運営委員会のメンバーは高齢化しており、児童コーナー利用の子育て世代に地域活動が根付いていくことは課題である。 ・昨年度、地域のイベント『染の小道』に参加し、児童に染物体験を行い、地域活動に協力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とともに歩む児童コーナー運営。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎今年度も小学校と児童個別の情報交換を行う。 落四小の児童も参加しやすいよう、行事や活動の日時設定を配慮する。 ◎自主事業運営委員会の活動を児童コーナーの子育て世代に PR し、運営委員会に参加を促せるよう、運営委員会の活動計画をバックアップしていく。また、児童コーナーの自主サークルや地域グループに活動参加を呼びかけ、今後の委員会の活性化につなげていく。 ◎地域協力の一環として、地域の活動やイベントに関わっていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・約 70 名の学童クラブ児童と一般児童で児童コーナーはどの部屋もにぎわっている。 ・遊戯室の利用をめぐる児童が興奮し、喧嘩やトラブルになることがよくある。 ・児童コーナーアンケートや利用者の声から、児童コーナーのクラブ、各行事への関心が高く、人気がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が使いやすい施設作り。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎混雑時には、パーテーションを使用する、遊戯室を部屋使用する等、スペースを有効活用できるように工夫する。 ◎大勢でも安全に楽しめる遊戯室の利用方法を検討し、集団で楽しめる遊びの提案や集団として育つ指導を行う。 ◎児童コーナーで自分の「好きなこと」を発見できるよう、幅広いジャンルの行事を企画する。
<ul style="list-style-type: none"> ・試験休み期間や長期休業中等には中学生が来館し、図書室や遊戯室『中高生タイム』の利用があったが、全体的に中高生の利用は減少傾向である。 ・昨年度、幼児は 2～3 歳対象の短期講座の『ポレポレペンぎん』を年間 3 クール計画した。講師を招いた活動も行い、参加者には好評であったが、全体的に参加申し込みが少なく、1 クールは開催できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児から中高生まで、誰でも居心地よくあそび、過ごせるよう工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎今年度も、中高生が遊戯室を優先的に使用できる『中高生タイム』を実施する。また、現在の高学年の意見を反映して、来年度の中高生ルーム設置に向けた運営準備を行う。 ◎近隣児童館の行事日程や利用者の要望を考慮し、『ポレポレペンぎん』の開催期間を改める。また、親と子のひろばと連携し、利用者にわかりやすい案内に改める。 ◎自主グループが活動しやすいよう支援する。
<ul style="list-style-type: none"> ・25 年度に、学童クラブは児童指導業務委託となり、児童コーナーは非常勤の児童指導ワーカーによる現場運営に切り替わる。 ・幼児クラブの計画・事務・実施が、親と子のひろばと児童コーナーとで分かれて行われていたが、統合していく方向で準備を始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・25 年度へのスムーズな運営の引継ぎを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎児童館アンケートや父母会等で、来年度に向けた意見を把握する機会を設け、引継ぎと運営準備に反映させる。 ◎児童コーナーの業務内容を整理し、各種マニュアルの見直しと修正を行う。 ◎幼児クラブの計画運営実施方法の見直しを図る。今年度から可能な部分は統合して実施する。

